

取扱説明書

おんどとりユニット

WJF-STO

このたびは、おんどとりユニットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご希望通りの仕様であるかラベルの記載内容をお確かめください。本品は、厳重な品質管理基準に基づいて製造、検査されております。万一、輸送中の破損などで不都合がありましたら、弊社またはお買い上げの販売店までご連絡ください。

この取扱説明書では機種ごとの使用方法を説明しています。この他に下記取扱説明書と合わせてご利用ください。

- ・WJM□取扱説明書
- ・SNVTs取扱説明書(WJM□)
- ・ジョイントモジュール総合取扱説明書

ご使用にあたって

ご使用前にWJM□取扱説明書の1ページにある「WJM□ 使用上の注意」を必ずお読み下さい。

本器単体でのご使用は出来ません。必ずWJMシリーズに接続してご使用ください。

概 要

本器はおんどとり※(親機、中継機)経由でおんどとり子機の蓄積データを収集するジョイントモジュール専用のユニットです。

※ おんどとり(ワイヤレスデータロガー)は㈱T&D社の登録商標です。

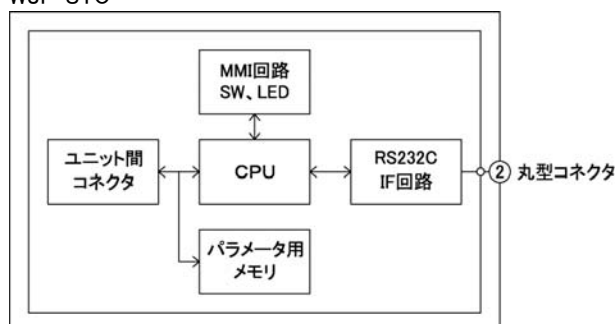
仕 様

WJF-STO - □ □ □ □

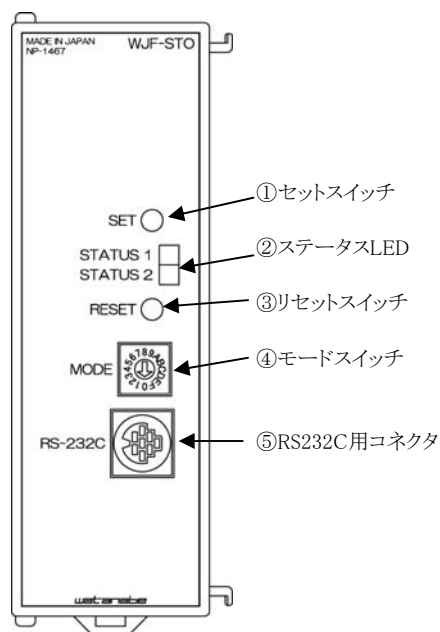
シリーズ	タイプ	機能	オプション	検査成績書番	付番	内 容
WJF						ジョイントモジュール機能ユニット
	STO					测温抵抗体入力ユニット
		X				なし
			N			なし
				0		なし
				1		付き
				00		標準

回路ブロック図

WJF-STO



スイッチ及びLED



①セットスイッチ

モードスイッチ変更後に押し、モードの切り替え、設定の確定を行います。

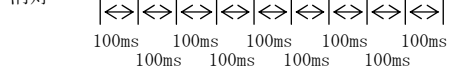
②ステータスLED

動作モードにより、表示内容が異なります。詳細は動作モードの項目を参照してください。LEDの点滅は下記の3種類があります。

点滅

点灯

消灯



2回点滅

点灯

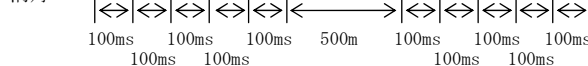
消灯



3回点滅

点灯

消灯



③リセットスイッチ

WJF-STOを再起動するときに押します。蓄積データ、蓄積設定、時計データはリセットされません。

④モードスイッチ

モードスイッチを切り替えてから2秒後に下記のモードになります。

0: 通常動作モード

1: おんどとりデータ差分収集モード

2: おんどとりデータ全収集モード

3: おんどとり(子機)電波強度表示モード

4: おんどとり(中継機)電波強度表示モード

(中継機未使用時は無効)

A: おんどとり通信タイムアウト設定モード(180sec)

B: おんどとり通信タイムアウト設定モード(210sec)

C: おんどとり通信タイムアウト設定モード(240sec)

D: おんどとり通信タイムアウト設定モード(270sec)

⑤RS232C用コネクタ

WJF-STOとおんどとり(親機)を接続するためのコネクタです。

動作モード

1. 通常モード（モードSW：0）

自動収集設定又は蓄積設定ツールからの手動収集を行います。
ステータスLED1: おんどのりのデータ収集中に点滅
差分収集: 2回点滅
全収集: 3回点滅
ステータスLED2: メインユニットとの通信中に点灯

2. おんどりデータ差分収集モード（モードSW：1）

WJF-STOのスイッチ操作によりおんどりデータの差分収集を行います。
このモードに入ったとき、ステータスLED1が点滅し、ステータスLED2は消灯します。
この状態でセットスイッチを押すとデータ収集を開始します。このとき、ステータスLED1が2回点滅になります。
データ収集が完了すると、ステータスLED1が点滅し、このモードに入ったときと同じ状態になります。
(この状態で、もう一度セットスイッチを押すと、再度差分収集を開始します。)

3. おんどりデータ全収集モード（モードSW：2）

WJF-STOのスイッチ操作によりおんどりデータ的全収集を行います。
このモードに入ったとき、ステータスLED1が点滅し、ステータスLED2は消灯します。
この状態でセットスイッチを押すとデータ収集を開始します。このとき、ステータスLED1が3回点滅になります。
データ収集が完了すると、ステータスLED1が点滅し、このモードに入ったときと同じ状態になります。
(この状態で、もう一度セットスイッチを押すと、再度全収集を開始します。)

4. おんどり(子機)電波強度表示モード（モードSW：3）

WJF-STOのスイッチ操作によりおんどり(子機)に電波強度を表示します。
このモードに入ったとき、ステータスLED1が消灯し、ステータスLED2は点滅します。
この状態でモードスイッチにより、電波強度表示を行いたい子機の蓄積チャンネルNo(10の桁)を選択します。
セットスイッチを押すと10の桁が確定し、ステータスLED2が2回点滅になります。
この状態でモードスイッチにより、蓄積チャンネルNo(1の桁)を選択します。
セットスイッチを押すと1の桁も確定し、ステータスLED2が3回点滅になり、指定された子機は電波強度表示を行います。(指定された子機と同じグループNoの子機も同時に電波強度表示を行います。)
この状態でセットスイッチを押すと、子機の電波強度表示が消え、ステータスLED2が点滅し、このモードの最初の状態に戻ります。
続けて、他の子機の電波強度表示を行う事が出来ます。

5. おんどり(中継機)電波強度表示モード（モードSW：4）

WJF-STOのスイッチ操作によりおんどり(中継機)に電波強度を表示します。
このモードに入ったとき、ステータスLED1が消灯し、ステータスLED2は点滅します。
この状態でモードスイッチにより、電波強度表示を行いたい中継機の下に配置されている子機の蓄積チャンネルNo(10の桁)を選択します。
セットスイッチを押すと10の桁が確定し、ステータスLED2が2回点滅になります。
この状態でモードスイッチにより、蓄積チャンネルNo(1の桁)を選択します。
セットスイッチを押すと1の桁も確定し、ステータスLED2が3回点滅になり、指定された子機に接続されている中継機に電波強度表示を行います。
この状態でセットスイッチを押すと、中継機の電波強度表示が消え、ステータスLED2が点滅し、このモードの最初の状態に戻ります。
続けて、他の中継機の電波強度表示を行う事が出来ます。

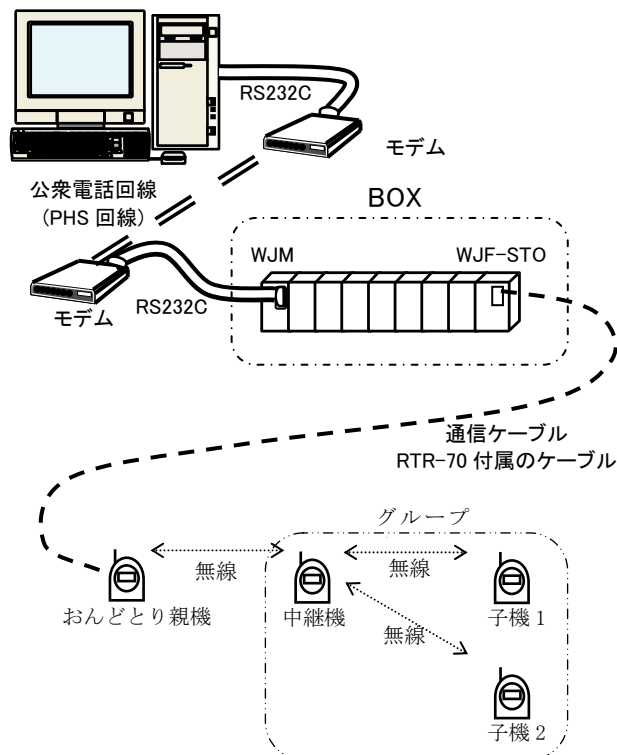
6. おんどり通信タイムアウト設定モード（モードSW：A～D）

WJF-STOのスイッチ操作によりおんどりとの通信タイムアウトを設定します。
このモードに入ったとき、ステータスLED1、2共に点滅します。
この状態でセットスイッチを押すと、モードスイッチの状態によって180～270秒のタイムアウトを設定します。
設定後、ステータスLED1、2共に1秒間点灯し、消灯します。
設定されたタイムアウトは次の収集から有効になります。

通信異常時の電波強度表示

電波状態により、子機との通信が正常に行われなことがあります。
通信異常発生時、通信異常が発生した子機に電波強度表示を行います。

ネットワークの構成



※このネットワーク構成は1例です。
WJMとパソコンの通信形態はLAN、RS232Cのどちらでも構いません。(モデムを使用しなくても構いません。)

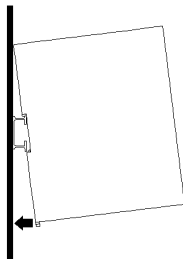
RS-232C 通信仕様

RS-232Cケーブル	専用ケーブル
インターフェース	半同期シリアル通信
通信方式	半二重
通信同期方式	調歩同期式 (スタートビット=1、 ストップビット=1)
通信速度	9600bps (固定)
キャラクタ長	8ビット
パリティ	なし
XON/XOFFフロー制御	なし
誤り検出	チェックコード
プロトコル	ポーリングセレクトイング方式
受信タイムアウト	あり

D I N レールへの着脱

1. 取付け

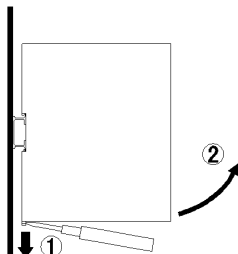
- ①白色のスライダーが下側になるように取付けます。裏面のフックをレールにかけ、矢印の方向にカチッと音がするまで押して下さい。



2. 取りはずし

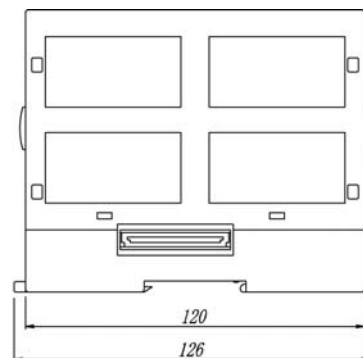
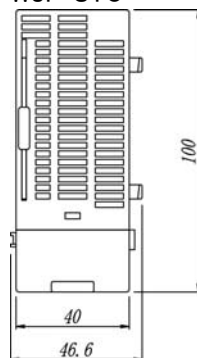
- ①本体の電源を切ってください。

- ②白色のスライダーの溝にドライバを差し込んで①の矢印の方向にカチッと音がするまで下げて、本体を②の矢印の方向に引くと外れます。



外形図

WJF-STO



その他の注意事項

1. 設置

- ・使用温度が-5～55℃の範囲を越えない場所に設置してください。
- ・使用周囲湿度が 90%以下で、結露しない場所に設置してください。
- ・塵埃、金属粉などの多い場所に設置する場合、放熱対策を施した防塵設計の筐体に収納してください。
- ・振動、衝撃は故障の原因になります。極力避けてください。

2. 配線

- ・電源ライン、信号ラインは、ノイズの発生源、リレーの駆動ラインの近くに配線しないでください。

本器は電源投入と同時に使用可能ですが、すべての性能を満足するには 30 分間の通電が必要です。

保証

本製品の保証期間は納入後 1 年間です。この期間内にカタログと本取扱説明書および別刷りのジョイントモジュール総合取扱説明書に定めてある条件で使用中に故障が生じた場合、弊社またはお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。無償修理または新品交換させていただきます。また、故障修理をご依頼される場合、必ず不具合の内容を具体的にお知らせください。

なお製品を分解、改造されたり、カタログと本取扱説明書および別刷りのジョイントモジュール総合取扱説明書に定めた条件以外でご使用された場合の保証はご容赦いただきます。